

科目名		授業形態	担当教員名	
解剖学Ⅱ		講義	荒川 高光	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
解剖学では、人体の構造を学ぶ。理学療法士を目指すみなさんにとって解剖学は、今後の学習の基盤となる学問である。理学療法士にとって重要な骨、関節、筋、神経系はもちろん、他の器官もまんべんなく、マクロレベルからミクロレベルに至るまで全てを網羅した知識としなければ患者を全人間的に把握することは不可能である。全身の解剖学を知り、理解できるようになることを目的とする。				
授業の到達目標				
全身の人体の解剖学を理解し、説明ができることができる。解剖学が今後の理学療法学にどのようにつながっていくのかを考えながら応用することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	神経系総論・神経組織、脊髄			
2	脳幹、小脳・間脳			
3	終脳			
4	髄膜と脳室			
5	脳の血管			
6	下行性伝導路			
7	上行性伝導路			
8	末梢神経系：脳神経（総論）			
9	末梢神経系：脳神経（各論）			
10	末梢神経系：脊髄神経（総論）			
11	脊髄神経：上半身			
12	脊髄神経：下半身			
13	末梢神経系：自律神経系			
14	視覚器			
15	聴覚器・平衡器			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト		適宜実施し、総合評価に加味する		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名		出版社名
なし				
自由記載	授業資料を製本したものを使用する			
参考文献				
書名		著者・編集者名		出版社名
自由記載				
備考				